



循環型社会の構築

「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会」による海洋ごみ削減活動



美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会が主催、PADIジャパンが共催となり、「2023 オーシャンクリーンプロジェクト in しずおか～伊東いるか浜クリーンアップデー」を開催しました。

海中及び海岸の清掃を中心とした海洋ごみ削減活動を実施するとともに、海の生き物観察会や海ごみアート製作など、海に関わる体験イベントや展示を行いました。

ダイバーによる海中清掃には40人、海岸清掃には60人、海に関わる体験イベント等には50人に参加いただきました。

当会は今後も、世界に誇るべき美しく豊かな静岡の海を未来に引き継いでいくため、海岸清掃を始め様々な活動に取り組んでいきます。



集合写真



海中清掃

ハロウィンやクリスマスに仮装して環境美化の啓発活動



菊川市では、ハロウィンやクリスマスというイベントに合わせて市職員が仮装して環境美化の啓発活動を行いました。



Trick or Trash Kikugawa 2023



Gommy Herashimas 2023

令和5年10月には、「Trick or Trash Kikugawa 2023」として、ハロウィンに合わせて映画のキャラクターや怪物などに仮装し、ごみ拾いを行うことで、ごみ拾い＝嫌なことではなく、面白くできるという事を呼びかけました。令和5年12月には、「Gommy Herashimas 2023」として、クリスマスに合わせてサンタクロースの仮装をし、環境についての川柳が包装袋に書いてあるエコバックを配布する事で、市民へ環境に配慮した生活について呼びかけました。

「掛川市おむつリサイクル・ごみ減量推進会議」を設置



掛川市では、2050年のカーボンニュートラルの実現を見据え、焼却と埋立に依存しない持続可能なごみ処理体制の構築を目指し、令和5年4月に



市長へ提言書を提出



推進会議の様子

「掛川市おむつリサイクル・ごみ減量推進会議」を設置しました。

推進会議では、「使用済み紙おむつ」「製品プラスチック」などの資源化や市民・地域の負担軽減策、市民が実践するための方策等について検討し、令和6年3月に市長宛てに提言書が提出されました。提言書を踏まえ、令和6年度以降実証実験等を行い、持続可能な仕組みづくりを進めていきます。



食品ロス削減を目指した企業等の取組を支援



静岡県では、廃棄物の削減や限りある資源を有効活用するため、家庭や飲食店での食品ロス削減を呼び掛けています。

令和5年度は、県内の食品関連事業者を対象に、食品ロスの削減につながるサービスを提供している企業等の事業説明会を開催し、取組事例の発表及び個別相談を行いました。

取組事例の発表では、気象データ等をAI解析することで需要を予測し、弁当や惣菜などの作りすぎを抑制するサービスや、店頭で販売できなくなった食品を福袋形式で販売するサービスなどが紹介され、その後の個別相談を通じて、一部の事業者がサービスの導入に至りました。

食品ロスは、県民の皆さんが日常的に接する「食」に関わる問題であり、今後も啓発を続けていきます。



サービス企業等による取組発表



食品関連事業者との相談会

食品ロス削減活動「おやまーケット」の実施



小山町では、食品ロスの削減と資源の有効活用を目的に、家庭や事業所で余っている食料を集め、必要とする方へ配布する活動に取り組んでいます。

この取組は、町と社会福祉協議会、御殿場・小山フードバンク協議会、町内郵便局と官民が連携して運営を行うもので、年3回、フードドライブとフードパントリーを実施しています。

事業名の「おやまーケット」は地元の小山高校の生徒が、多くの町民が活動に興味を持ち、参加できるように願いを込めてネーミングしました。



フードパントリー実施会場



提供食料

企業等と連携し、子どもたちの記憶に残るごみ減量授業を実施！



静岡市では、市内小中学校、高等学校を主対象に、ごみ減量に積極的に取り組む企業等と協働して出前授業を実施しています。令和5年度は17の企業・団体と93回の授業を実施し、身近な商品やサービスを題材に、食品ロスや使い捨てプラスチックを削減するための工夫を紹介しました。また、授業後にフードドライブ活動や海岸清掃等への協力を呼びかけ、座学だけでなく行動にまでつながるよう伴走支援しています。

この取組を紹介する動画が、環境省「環境教育・ESD実践動画100選」に選定されました。



授業でマイクロプラスチックを観察する様子



授業を受けた子どもたちによる海岸清掃の様子